

ICカードを利用したポストペイサービスによる 公共交通機関利用促進実証実験 (平成16年1月～平成17年12月)

背景

約10年前より導入されたプリペイドカードによる乗車カードシステムでは、割引を付加することができない、残額不足の際には依然として乗越精算機を利用しなければならないなどの課題があった。「スルッとKANSAI」では、こうした前払いサービスでは解決できなかった課題を克服し、完全なキャッシュレスサービスの実現により更なる鉄道利用促進を図る。

実験の概要

実験実施路線：阪急電鉄、京阪電気鉄道 実験実施主体：株式会社スルッとカンサイ

【第1段階：平成16年1月～6月】

実験 運賃後払い型ICカードの導入

【第2段階：平成16年7月～平成17年3月】

実験 鉄道利用実績に応じた割引率の設定

実験 提携店舗・施設でICカード決済し、たまったポイントに応じて鉄道運賃を割引

【第3段階：平成17年4月～平成17年12月】

実験 鉄道とバスとの乗継割引サービス等

実験 他交通機関発行カードとの相互利用

実験の途中経過

○ 利用者が実験前に比べ 増加

阪急電鉄川西能勢口駅及び京阪電鉄樟葉駅における3月土休日の乗降人員合計(平成16年度)

732,062人 (平成14年度)

↓

737,167人 (+0.7%)

{実験継続中}

